

■ 第78回調査研究方法検討会かわら版 ■

去る 2020 年 11 月 21 日（土）オンライン会議システム Zoom を使用して、第 78 回調査研究方法検討会が開催されました。

検討会の報告要旨は、各演者の方へお願いしております。ご発表いただいた研究の概要とともに、検討会で議論された内容も含めご報告いたします。

「インフルエンザ調査の報告とお願い」

齋藤玲子

2018 から 20 年までの 2 シーズンにわたって行われた、インフルエンザ調査の結果を報告し、さらに 2020/21 年シーズンのインフルエンザ調査の要請を行った。

2018/19 年シーズンは、インフルエンザ A/H1N1pdm と A/H3N2 が主流の流行で、初診時にバロキサビル感受性低下株は、A/H3N2 の 2.1% に検出された。バロキサビル投与後には、A/H1N1pdm の 9.1%（再診時陽性を分母にした場合は 37.5%）、A/H3N2 の 12.0%（再診時陽性を分母にした場合は 33.3%）に感受性低下 PA 変異株が出現していた。2019/20 年シーズンは、A/H1N1pdm と B/Victoria が主流であったものの、4 件しか認められなかった A/H3N2 の 1 件にバロキサビル感受性低下株を認めた。A/H1N1pdm と B/Victoria には 2 シーズンを通じて、初診時にバロキサビル感受性低下株は認められなかった。2019/20 年シーズンは、バロキサビル投与後に A/H1N1pdm の 2.5%（再診時陽性を分母にした場合は 6.1%）に感受性低下株が出現していた。

10 歳前後の小児で A/H1N1pdm と B 型に対するバロキサビル投与後の発熱時間と症状持続時間を調べたところ、2 群間で差はなく、バロキサビルは B 型インフルエンザに対して有効であることが示された。バロキサビル投与後に出現した感受性低下 PA 変異株を、変異なし群と臨床症状を比較したところ発熱と症状持続時間には差がなく、変異が出現していても 10 歳前後の小児では臨床症状が遷延しないことが示された

2020/21 年のインフルエンザ調査については、コロナ流行下であることから、新型コロナの迅速診断キットを使ってインフルエンザと同時スクリーニングを行い、そのうえ、症例数を制限して調査をしていただくよう依頼した。

「新型コロナウイルス感染予防のため小児におけるマスク装着による問題点の調査」

杉村 徹

【背景】新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防対策の一つとして、マスクの装着が推奨されている。小児において在園や在校中は運動時を除いて、常時マスクの装着が行われている。このような集団生活環境における小児の身体や精神への影響は不明である。

【目的】在園や在校時にマスク装着を行っている小児における問題点を調査し、その結果を小児の健康の支援や維持のために役立てる。

【対象と方法】2020年6月から7月の間に当院を受診した5歳から15歳の児を対象に無記名のアンケート調査を行った。

【結果】92例から回答を得た。年齢：8.1±2.4歳，男児45例，女児47例。息苦しい55例(59.8%)，暑い81例(88.0%)，口まわりが痒い20例(21.7%)，ふらふらする9例(9.8%)，眩暈3例(3.3%)，頭がぼーとなる19例(20.7%)，先生の話に集中できない27例(29.3%)，会話が聞こえ難い18例(19.6%)，イライラする19例(20.7%)，友人と話し辛い26例(28.3%)，楽しくない12例(13.0%)，元気がでない7例(7.6%)，友人関係に変化があった5例(5.4%)：その中に「友人の気持ちがわからない」2例あり。

【総括】今回の調査から、マスク装着による身体的症状、コミュニケーションや精神面への影響が示唆された。今後、マスクの装着方法や着脱のタイミングなど検討が必要であると考えられた。

第76回調査方法検討会で議論いただいた内容の調査報告を行った。今回はアンケート内容が問題点調査に限定的であったため、今後、マスクの利点も含め調査内容の検討や新型コロナウイルスの流行に地域差もあり、調査地域や施設を広げて調査が必要とのご意見をいただいた。

「蜂蜜による鎮咳効果の検証試験」

西村龍夫

小児の上気道炎が原因となる咳嗽に対する蜂蜜の鎮咳効果を調べるために、ダブルブラインド試験を計画した。検討会では蜂蜜の種類を計画書にある甘露蜂蜜から一般的なものにすること、コントロールとする薬剤の選定についてのアドバイスを頂いた。最大の問題点として、今回の研究が薬剤を使用するため特定臨床研究にあたる可能性があり、その場合には学会での倫理審査が難しいことが指摘された。今後、都道府県の薬務課に確認し、特定臨床研究に当たる場合にはどのような形で倫理審査を受けることができるのかを調べることになった。

連絡先：〒820-0040 福岡県飯塚市吉原町537 いいづかこども診療所 牟田広実
FAX: 0948-80-5632, E-mail: qze05346@nifty.com